

事務事業名		吉田グリーンシャワーの森管理事業		所属部	吉田総合センター	所属課	事業管理課
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	産業振興グループ	課長名	河角郁夫
	施策名	〈38〉観光の振興		担当者名	松村直樹	電話番号	0854-74-0213
	目的	対象	市外の人・市民	意図	市内観光地を訪れ、市内で消費してもらう。	(内線)	4413
	基本事業名	〈117〉受け入れ施設の充実		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	観光施設管理事業	
目的	対象	観光客	意図	受け入れ施設を整える。	項目 中事業 中事業名	グリーンシャワーの森施設管理事業	

1 現状把握〔DO〕

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
・指定管理業務 ・施設修繕業務 ・施設維持業務

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	26年度実績(26年度に行った主な活動)	27年度計画(27年度に計画する主な活動)			
	② 活動指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	ア 指定管理者協議	回	3	3	4	4
	イ 施設修繕・工事箇所	箇所	9	10	4	4
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	施設利用者(市内外) 指定管理者	③ 対象指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
			ア 雲南市人口	人	40,548	40,055	39,472	39,458
			イ 国内人口	千人	127,474	127,258	127,044	126,558
			ウ 指定管理者	組織	1	1	1	1
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	施設利用者の増加 指定管理者による効果的な管理運営	④ 成果指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
			ア 施設利用者	件	1,858	1,674	1,807	1,900
			イ 指定管理料	千円	7,350	7,350	7,560	7,773
			ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (26年度決算)	② コストの推移	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
【委託料】 7,752千円 内訳：指定管理料 7,560千円 貯水槽清掃業務委託 192千円 【修繕費】256千円 【工事請負費】4,707千円 【賃借料】 281千円 【原材料費】 118千円 計 13,114千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	10,512	9,804	13,114	12,477
	事業費計(A)	千円	10,512	9,804	13,114	12,477
	人件費	人	1	1	1	1
	正規職員従事人数	時間	150	150	180	
	延べ業務時間	千円	588	584	700	
	人件費計(B)	千円	11,100	10,388	13,814	
	トータルコスト(A)+(B)	千円				

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・中国横断自動車道尾道松江線の開通に伴う交通アクセス環境の改善により施設利用者が増加傾向となっている。 ・指定管理者による喫茶部門の運営努力により市内外からの利用者に好評を得ている。今後さらに施設機能を高め、周辺の観光関連施設との連携も図る必要がある。	・指定管理料や借地契約の見直しにより運営経費の縮減を図った。 ・備品整備や修繕を継続実施し、コテージの宿泊環境や管理棟での暖房、居住環境の改善を図った。 ・道の駅たたらば壱番地における当施設情報の発信を行った。	・尾道松江線開通に伴い県外、市外からの施設利用者、宿泊者の増加が期待されている。 ・宿泊棟、水道施設、管理棟等老朽化した施設の修繕・改修要望がある。 ・道の駅たたらば壱番地等の観光関連施設との連携強化をより図りたいとの要望がある。

事務事業名	吉田グリーンシャワーの森管理事業	所属部	吉田総合センター	所属課	事業管理課
-------	------------------	-----	----------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由																						
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒																							
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒																							
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？																							
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒																							
C 効率性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																							
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 近接するインターチェンジを活用し、道の駅たたらば壱番地等と連携を図りながら、より魅力ある施設情報を発信することで、観光客を同施設へ誘導し、施設利用者を増加させることが可能である。																						
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？																							
D 公平性	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 市内の宿泊や観光・自然体験、地域間交流の施設として有効に機能している面もあり、宿泊者や観光客、施設利用者の利便性が低下する。																						
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？																							
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由 町内の観光施設(指定管理者)との連携により、同一エリア内における特色ある観光事業や観光情報を共有して集客を図ることが可能であるため。																						
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)																							
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 施設修繕等については、継続的に一定の事業費が必要であるとともに、宿泊機能を伴う施設として、幅広い利用者ニーズに適応していく必要があるため。																						
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？																							
D 公平性	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 指定管理に係る業務の他、施設修繕等への対応業務を有するため。																						
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？																							
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 市内外に向けた宿泊、自然体験・交流施設等であるため。																						
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																						
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	施設維持保全を修繕、改修等の実施により対応している。指定管理者においても、快適な施設維持、改善、軽微な修繕、及び喫茶部門の開設や地域情報の提供等きめ細やかなサービスに対応し、良好な施設管理維持ができています。また、尾道松江線開通効果もあり、利用者数は増加傾向となっており、今後、一層の効果的な施設管理運営が必要である。																						
3 今後の方向性【PLAN】	① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																						
	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)て成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		●																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					